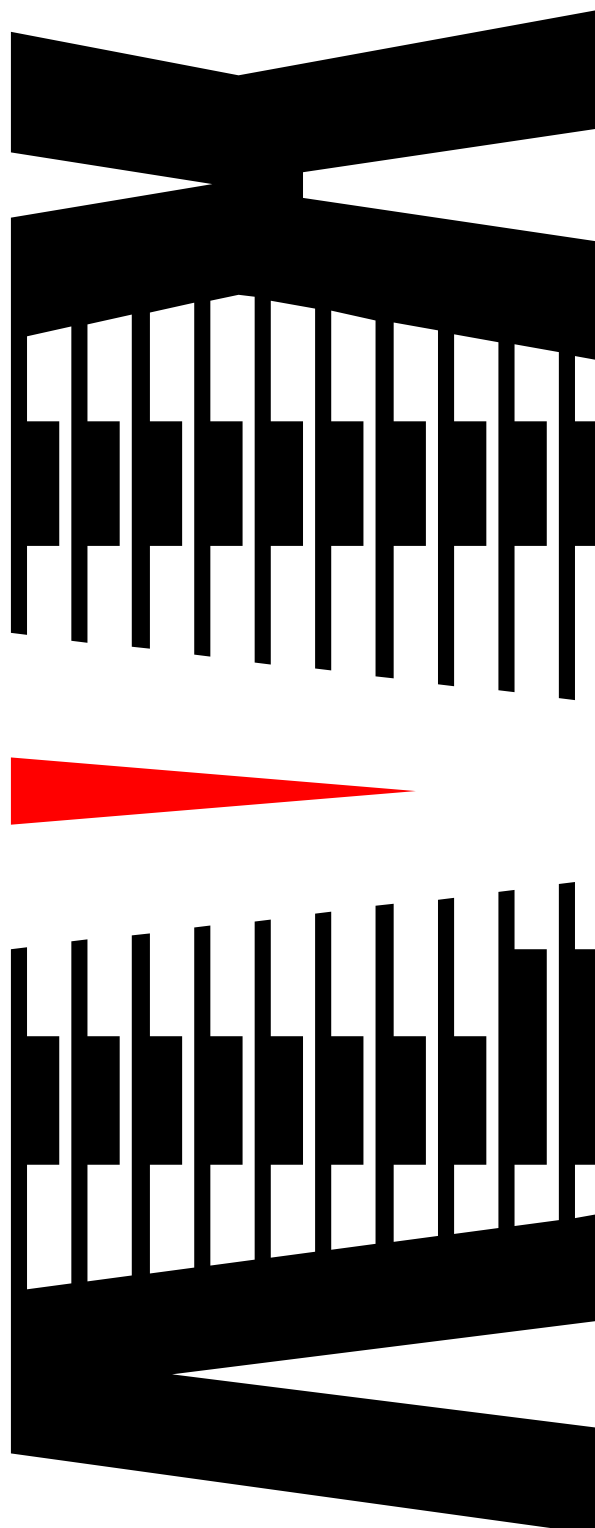


“ アル ビ ク ス ” マ ル チ ビ ュ ー ワ

MV-600-NM I

取扱説明書

Ver.00



ご使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為に指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

	ページ
1. 主な機能と特徴	3
2. 仕様	4
3. 各部の名称と機能	6
3-1 フロントパネル	6
3-2 リアパネル	8
4. 接続方法	9
5. 設定について	11
5-1 子画面設定	11
5-1-1 表示 ON/OFF	11
5-1-2 サイズ	12
5-1-3 表示位置	12
5-1-4 枠モード	13
5-1-5 チャンネル名称 表示 ON/OFF	15
5-1-6 チャンネル名称 表示位置	16
5-1-7 音声バー表示位置	18
5-1-8 枠色・ブリンク	28
5-1-9 BASE 色・ブリンク	30
5-1-10 アスペクト設定	31
5-1-11 サブアスペクト設定	32
5-2 チャンネル名称	34
5-3 トリミング設定	35
5-4 時計設定	36
5-4-1 アナログ時計	36
5-4-2 デジタル時計	37
5-5 コメントウィンドウ設定	38
5-5-1 設定項目	42
5-6 背景設定	43
5-7 レイアウト設定	44

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたりしてはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く、埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

◇アルピクス・マルチビューワは、NM I 信号(10Gb e)を入力し、大画面・高解像度液晶ディスプレイなどに分割表示することができます。

◇NM I 入力は、NM I 1 系統でHD x 4 系統または、4K x 1 系統が受信可能。

NM I 入力基板1 枚に、NM I モジュールを2 系統搭載します。

4k x 1 系統入力では、2S I のうち1 系統を子画面として表示します。

※HD: 1920×1080 59.94i YC422_10bit (圧縮)

※3G: 1920×1080 59.94p YC422_10bit Level-A (圧縮)

※4k: 3840×2160 59.94p YC422_10bit Level-A, 2S I (圧縮)

※入力信号はNM I モジュール仕様に依存します。

その他のフォーマットについては、お問い合わせください。

◇NM I 入力基板は1 筐体に4 枚実装可能で、

NM I 信号を8 系統(HD で最大32ch) 入力可能です。

NM I 信号をSD I 化し内部処理を行います。

SD I 化したSD I 信号をモニター出力します。

◇レイアウトが全く異なる分割画面を2 系統出力します。

<例1> 16 分割画面を2 系統出力することが出来ます。

<例2> 8 分割画面と24 分割の2 系統出力することが出来ます。

<例3> 32 分割画面を1 系統に出力することが出来ます。

また、カスケード接続が可能で、入力数を増やす事も可能です。

2 台カスケード接続でHD 最大64ch 入力

1 筐体内にSD I 入力基板も混在実装可能です。

◇エンベデッドオーディオに対応し、最大8ch のオーディオレベルバーを合成することができ、目視による音声の確認が出来ます。

◇LTC 入力が可能でアナログ時計／デジタル時計表示を同時に表示可能です。

◇レイアウトパターンは出力毎に8 個持つ事が可能です。

◇チャンネル名称は、シフトJISコード(第一水準) の文字が表示可能です。

◇分割表示の他にコメントウィンドウ表示があり、

コメントウィンドウで文字やタリーなどを自由に表示することが可能です。

◇外部制御はLAN インターフェイスを装備し、アルピクスエラー装置と連動してタリーの様に表示する事が出来ます。設定はTCP/IP で行います。

機器状態(ファン、電源異常) はSNMP トラップ通知します。

◇電源はリダundant でフロントメンテナンス可能です。

2. 仕様

筐体：MV-600-NMI-TN		
外部制御	OUT-REAR基板にETHERコネクタあり	
SNMP通知	OUT-REAR基板にETHERコネクタあり（SNMP通信用）	
メンテナンス	前面よりSCALER基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： MV-600-PU	リダンダント、ホットスワップ	
	AC100～250V（50/60Hz）	
外形寸法	W430×H132×D680mm（Dは予定） 3Uラックマウントサイズ（突起含まず）	
基板実装枚数	NMI入力基板	1～4枚
	SCALER基板	1～4枚
	OUT-CNT基板	1枚
	OUT-REAR基板	1枚
最大入力信号数	32系統	
最大出力信号数	2系統	
重 量	約12kg	
消費電力／皮相電力	約 370W／350VA	
使用周囲温度	5～40℃	

NMI入力基板：MV-600-IN-NMI		
入力信号	入力信号形式	NMI信号×2系統
	入力接栓	SFP+（10Gb e）×4個 （NMI信号2重化×2系統）
	入力映像信号	HD：1920×1080 59.94i YC422_10bit （圧縮）
		3G：1920×1080 59.94p YC422_10bit Level-A（圧縮）
		4k：3840×2160 59.94p YC422_10bit Level-A,2SI（圧縮）
	入力音声信号	48kオーディオ 8ch対応
出力信号	モニター出力信号	NMIモジュールでSDI化した信号を SDI出力します。 信号は、入力映像信号と同じ。
	モニター出力信号 コネクタ	BNCコネクタ×8系統
活線挿抜	不可	

SCALER基板：MV-600-SCALER-8	
信号形式	SD/HD/3G-SDI
処理数	8系統 8子画面の変換を行います。
機能	オーディオバー表示
	IP変換
	リサイズ
活線挿抜	可

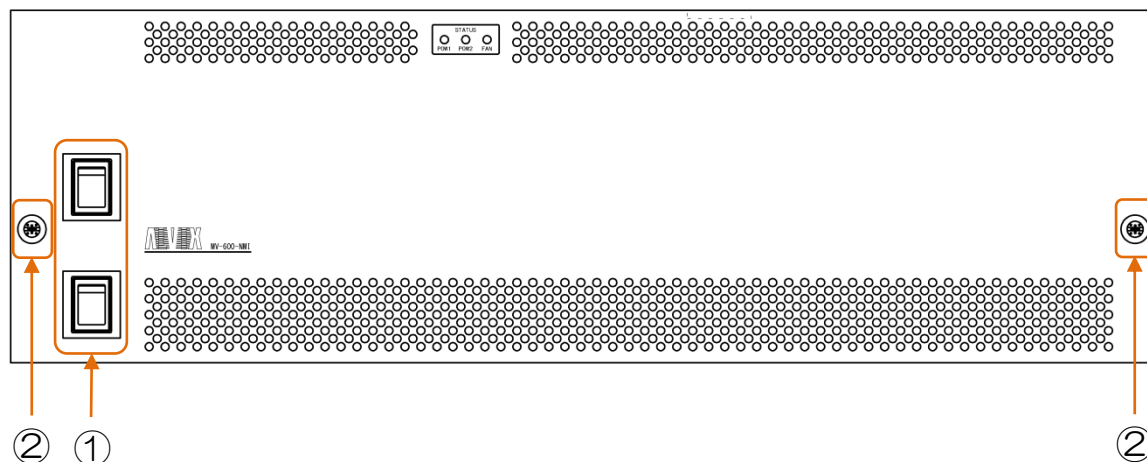
OUT-CNT基板：MV-600-OUT-CNT	
出力数	チャンネル名称やコメント表示を合成し2出力を行います。

OUT-REAR基板：MV-600-NMI-OUT-REAR		
SDI入力信号	入力信号形式	3G-SDI 59.94Hz
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	1系統
SDI出力信号	出力信号形式	HD-SDI 59.94Hz
	出力接栓	BNCコネクタ
	出力信号数	2系統
DVI出力信号	出力信号形式	DVI出力信号：DVIデジタル 最大1920×1080P ※ケーブル長の制限があります。 ※DVI-HDMI変換ケーブルを使用する事で、 HDMIモニタに出力可能です。
	出力接栓	DVIコネクタ
	出力信号数	2系統
LTC入力信号	LTC入力信号	SMPTE 12M
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	1系統
外部制御、SNMP	制御方式	TCP/IP、SNMP
	コネクタ	RJ-45
活線挿抜	不可	

3. 各部の名称と機能

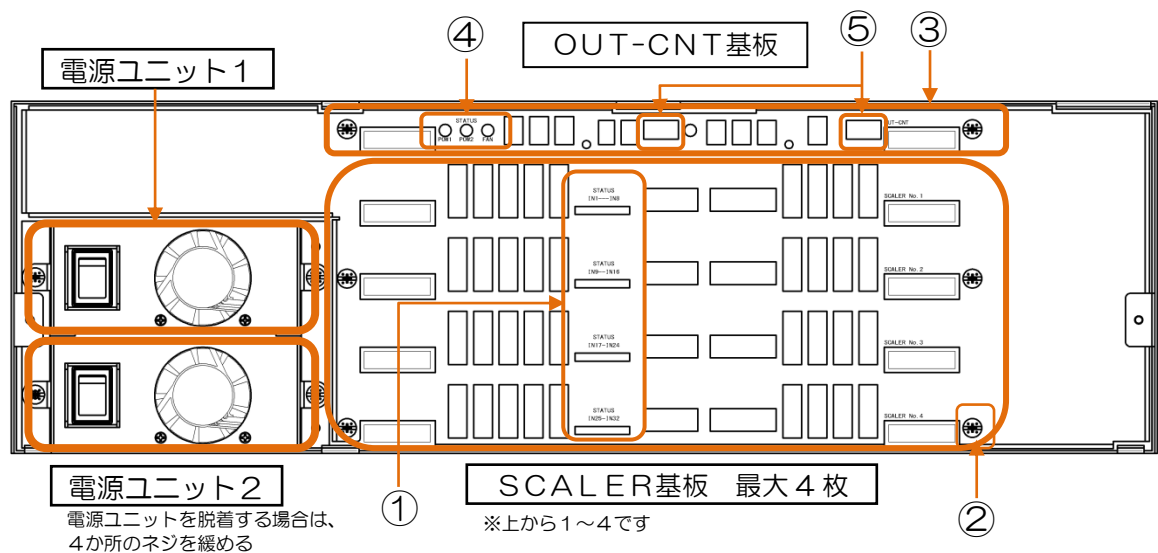
3-1 フロントパネル

<フロント>



- ① 電源ユニットスイッチ
本機器の電源ON／OFFを行います。
通常は、上下のスイッチを両方ONにして使用してください。
- ② フロント着脱用ネジ
フロントを開口するには、ネジを緩めてフロントの着脱を行います。

<フロント開口時>

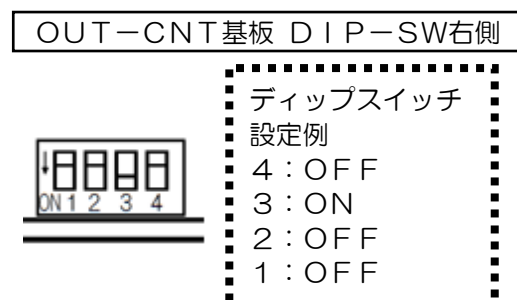
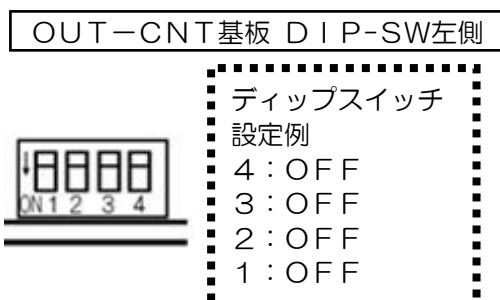


- ① SCALER基板インジケータ
SCALER基板への入力信号の状態を表します。
消灯：無信号、点滅：SD、点灯：HD 左から入力1～8です。
SCALER基板は8入力をリサイズ出力します。
- ② SCALER基板脱着用ネジ
SCALER基板を脱着する際には、6カ所のネジを緩めて金具を外します。
- ③ OUT-CNT基板
OUT基板を脱着する際には、6カ所のネジを緩めて金具を外します。
- ④ステータスLED
機器状態を示すLEDです。
左から POWER1、POWER2、FAN。
POWER1、POWER2、FANは赤点灯で異常、正常は緑点灯。
IN-UNITは緑点滅で起動中、起動完了緑点灯。
- ⑤OUT-CNT基板 DIPSW設定
本機器のカスケード接続設定を行います。

表1. ディップスイッチの表示方式

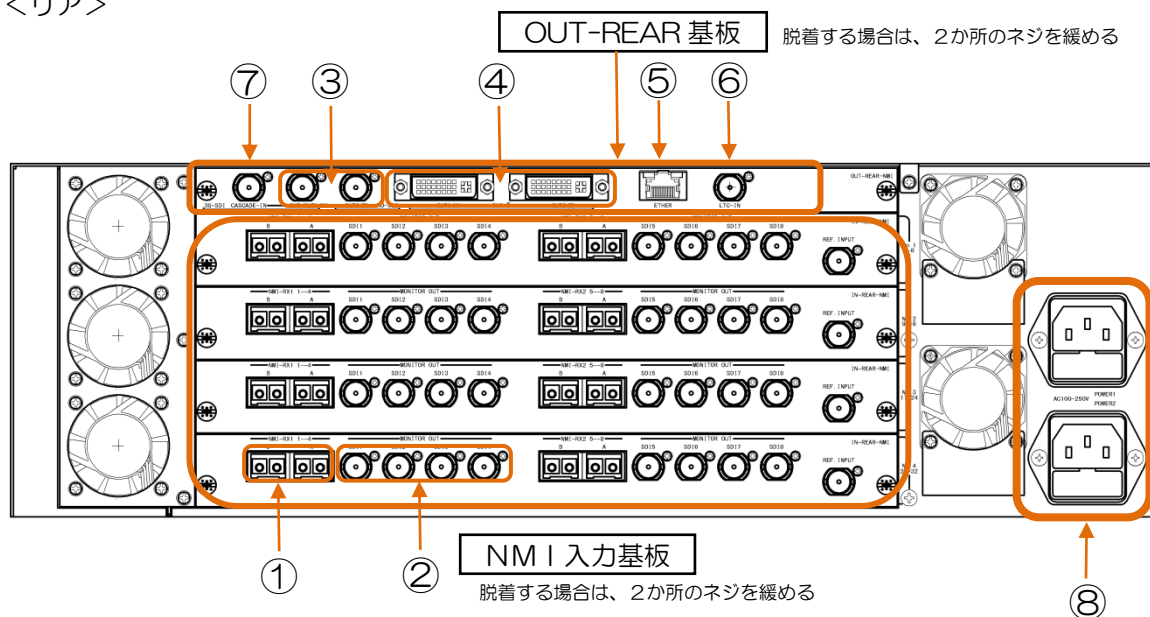
ディップスイッチ	ON	OFF
1※	Slave	Master
2	2台接続	1台接続
3	右側DIPSW	左側DIPSW
4	デフォルト状態ON (子画面設定16分割)	デフォルト状態OFF

※1台接続設定時は不問



3-2 リアパネル

<リア>



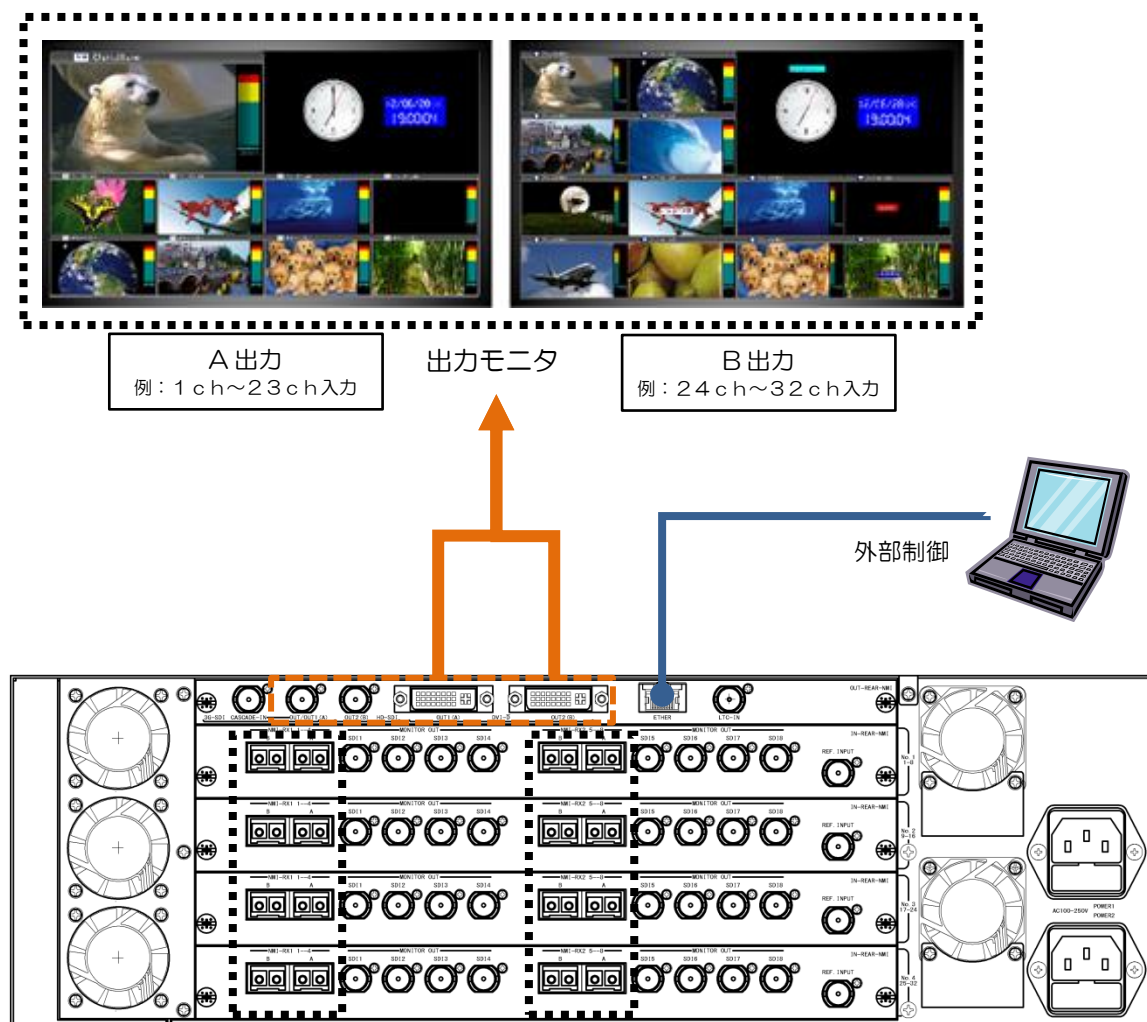
- ① NMI 入力
NMI を入力するコネクタです。
- ② モニター出力
NMI モジュールでSDI 化した信号をSDI 出力するコネクタです。
- ③ SDI 出力
HD信号を出力します。
- ④ DVI 信号出力
1920×1080pのDVI 信号を出力します。
※ケーブル長の制限があります。
※HDMI モニターを使用する場合、
DVI-HDMI 変換ケーブルで表示可能です。
- ⑤ ETHER
外部制御用LANインターフェイスコネクタです。
ネットワークから制御する際に接続します。
- ⑥ LTC入力
時計表示用のLTC信号を入力します。
時計表示は、内部時計かLTCで表示します。
- ⑦ カスケード入力
カスケード接続で入力数を増やす事が可能です。
2台カスケード接続で最大64ch入力。
- ⑧ AC入力
本機の電源入力（3Pインレット）です。
電源コードは電源ユニット1、2とも接続して下さい。

4. 接続方法

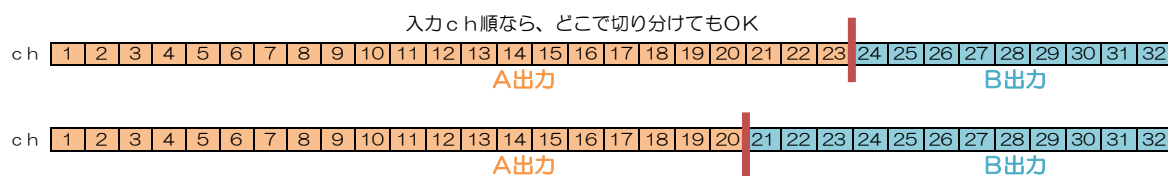
◇MV-600-NMI を使用する際の接続方法を示します。

＜構成例1＞

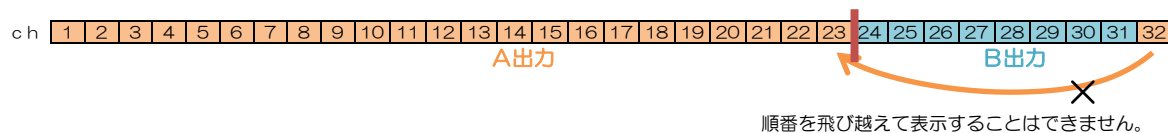
NMI 8 系統入力（HD：32ch）2 系統出力が可能です。



※但し、入力ch順での割り付けとなります。



※A出力に【1~23chと32ch】、B出力に【24ch~31ch】を割り付けるなど、順番を飛び越えたレイアウトはできません。

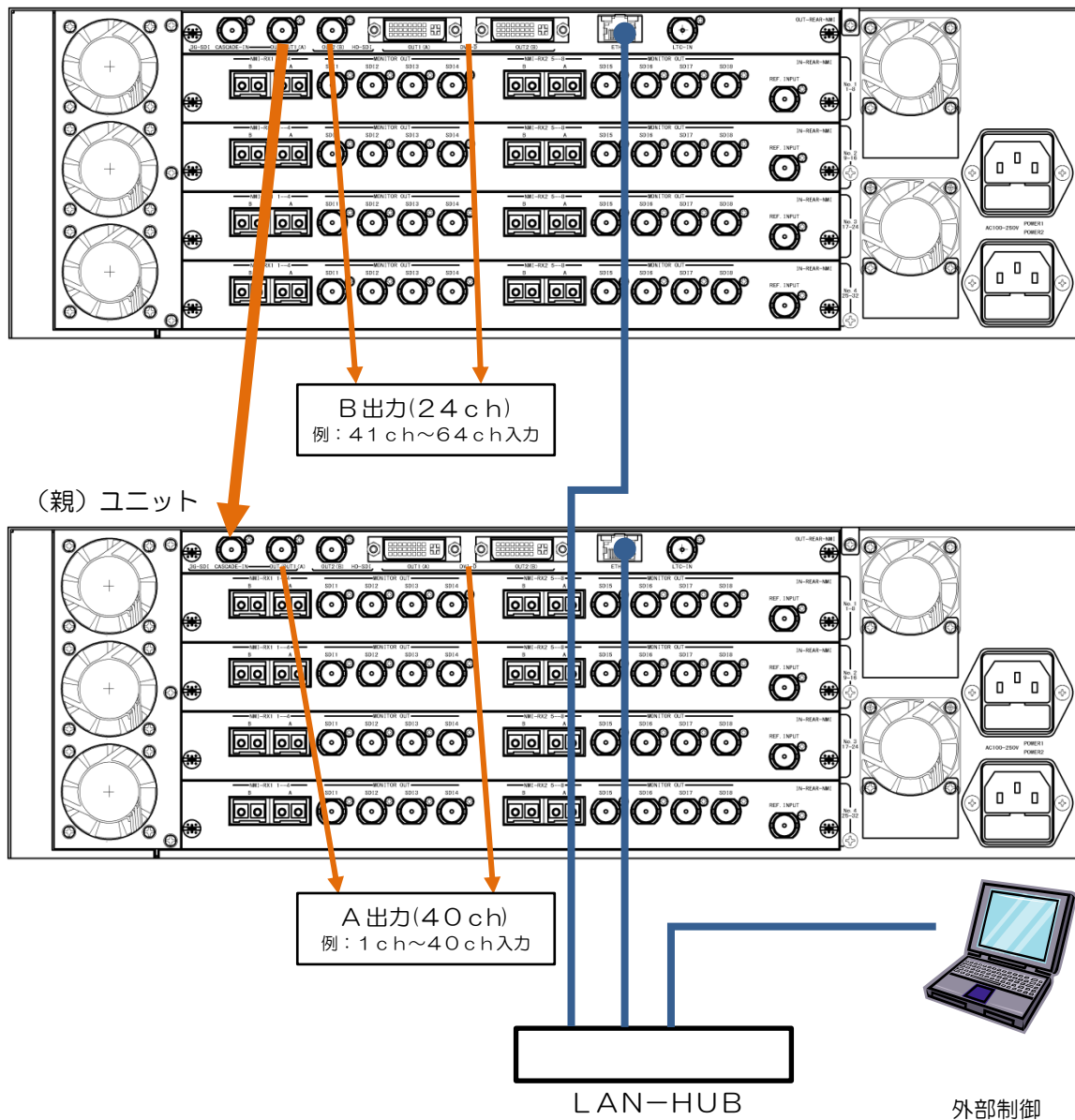


＜構成例２＞

・カスケード接続

2台カスケード接続することにより、最大NM I 16系統入力（HD：64ch）
2系統出力が可能です。
A出力＝33以上必要な場合に使用する。A出力にのみ加算可能。

（子）カスケードユニット



※カスケード接続の場合、PC（設定ソフト）または上位より制御しますが、制御対象は親ユニット（例：192.168.1.200）のみとなります。（LAN接続は2台とも必要です。）
子ユニットの制御は親ユニットが行います。
※PC、HUBはお客様ご用意となります。
※時計表示の為にLTCはどちらのユニットにも必要です。

5. 設定について

5 - 1 子画面設定

- ◇設定ソフトを使用し、子画面の表示設定やレイアウトを変更することができます。
※ 設定ソフトの操作方法については、別紙設定ソフト取扱説明書をご覧ください。

5 - 1 - 1 表示 ON/OFF

子画面の表示／非表示が設定できます。

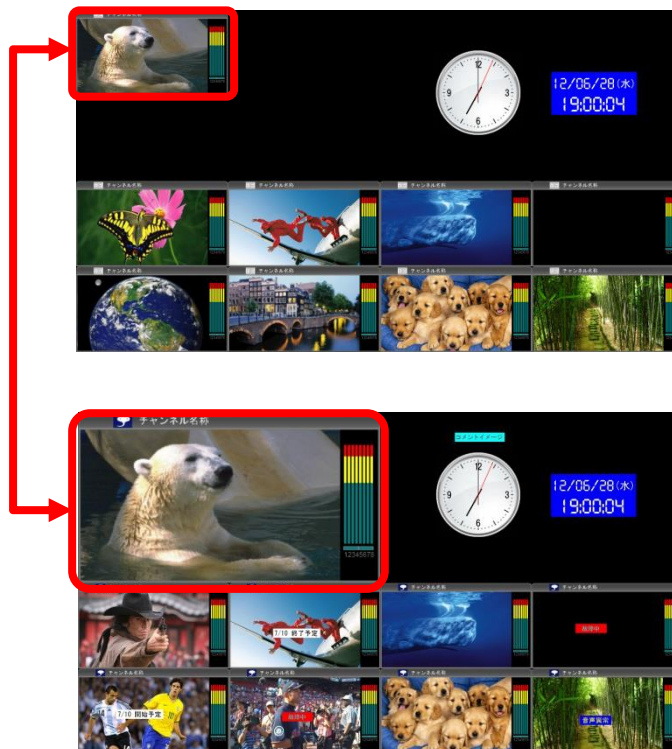
表示ON/OFF



5 - 1 - 2 サイズ

サイズを1ドット単位で設定できます。

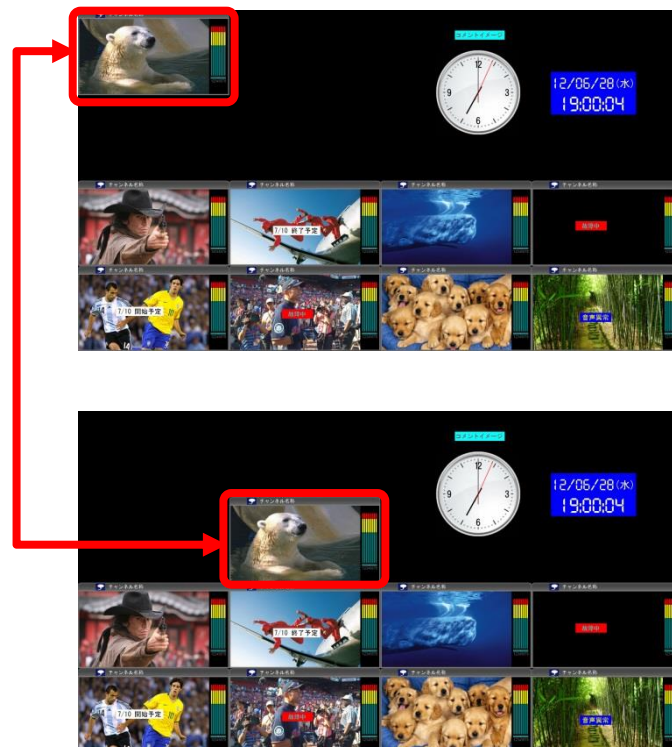
サイズ設定



5 - 1 - 3 表示位置

表示位置 (X,Y) を1ドット単位で設定できます。

表示位置設定



5 - 1 - 4 枠モード

各子画面には下図のようにノーマル、シンプル、フル、ノーマル(チャンネル名称無し)の4種類の枠モードが設定できます。

ノーマル：基本となるモードです。

シンプル：ノーマルより映像が大きく表示されるモードです。

フル：オーディオバー、タイトルバーがなく、映像が子画面一面に表示されるモードです。

ノーマル(チャンネル名称無し)：ノーマルモードにチャンネル名称が表示されません。

設定	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

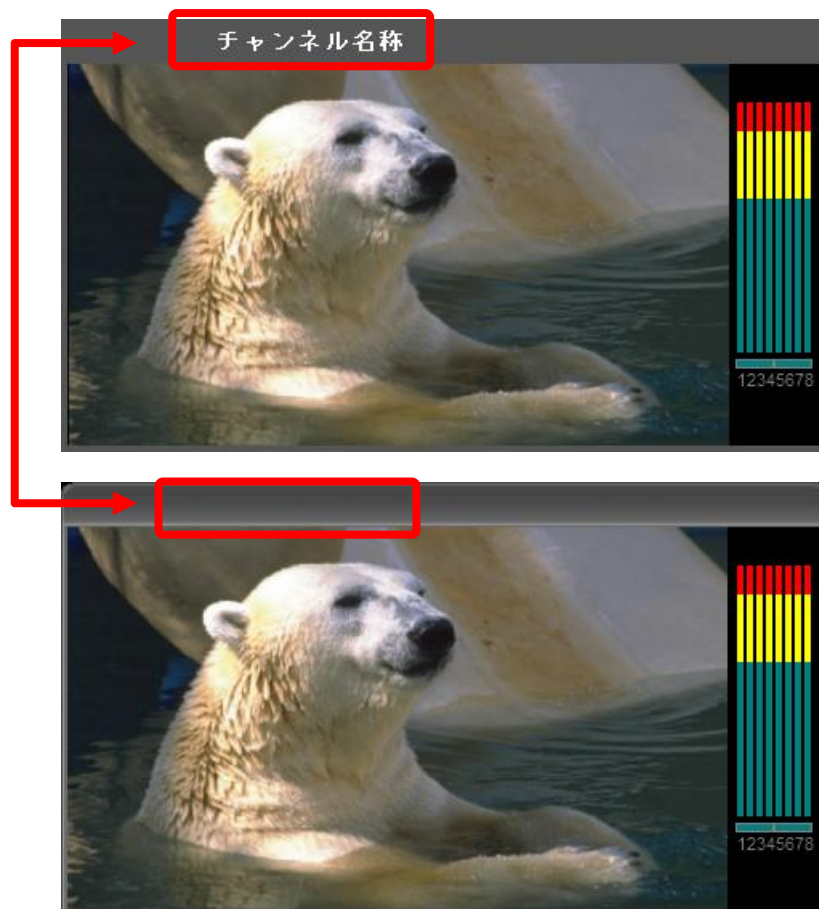
ノーマル
(チャンネル名称
無し)



5 - 1 - 5 チャンネル名称 表示 ON/OFF

チャンネル名称の表示／非表示が設定できます。

チャンネル名称
ON/OFF設定



5 - 1 - 6 チャンネル名称 表示位置

チャンネル名称の表示位置(上又は下)が設定できます。

- 枠モード＝ノーマル

設定	表示
上	
下	

● 枠モード=シンプル

設定	表示
上	
下	

● 枠モード=フル

設定	表示
上	
下	

5 - 1 - 7 音声バー表示位置

各子画面はそれぞれ音声バーの表示位置が設定できます。
設定可能な位置は、梓モードにより以下のように異なります。

梓モード	設定可能位置
シンプル	右、左
ノーマル	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)
フル	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)、表示なし、 右側上、右側下、左側上、左側下、上側中央、上側右詰め、上側 左詰め、下側中央、下側右詰め、下側左詰め
ノーマルモード (Ch 名称無し)	右、左、左右、左右(左：奇数 CH、右：偶数 CH)、 右側上、右側下、左側上、左側下、上側中央、上側右詰め、上側 左詰め、下側中央、下側右詰め、下側左詰め

● 梓モード＝シンプル

設定	表示
右	
左	

● 枠モード＝ノーマル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	

● 枠モードニフル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	

表示なし	
右側上	
右側下	
左側上	

左側下	
上側中央	
上側右詰め	
上側左詰め	

下側中央	
上側右詰め	
上側左詰め	

- 枠モード＝ノーマル（Ch名称無し）

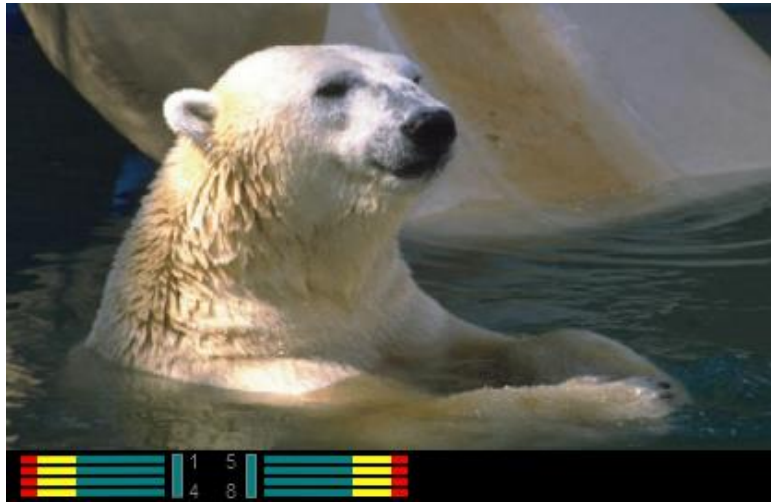
設定	表示
右	

左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	
右側上	
右側下	

左側上	 A polar bear is shown in the water, looking towards the right. To the left of the bear is a vertical color calibration chart with 8 color bars (red, yellow, cyan, blue, magenta, white, black, and a second red) and the numbers 12345678 below them.
左側下	 A polar bear is shown in the water, looking towards the right. To the left of the bear is a vertical color calibration chart with 8 color bars (red, yellow, cyan, blue, magenta, white, black, and a second red) and the numbers 12345678 below them.
上側中央	 A polar bear is shown in the water, looking towards the right. At the top of the frame is a horizontal color calibration chart with 8 color bars (red, yellow, cyan, blue, magenta, white, black, and a second red) and the numbers 1 5 4 8 in the center.
上側右詰め	 A polar bear is shown in the water, looking towards the right. At the top of the frame is a horizontal color calibration chart with 8 color bars (red, yellow, cyan, blue, magenta, white, black, and a second red) and the numbers 1 5 4 8 in the center.

上側左詰め	 A polar bear is shown swimming in dark water, its head and front paws visible. The bear's fur is wet and appears yellowish-brown. A color calibration bar is positioned at the top of the frame, featuring a series of colored squares and numbers (1, 4, 5, 8) for color and exposure reference.
下側中央	 The same polar bear is shown in the same swimming position. In this frame, the color calibration bar is located at the bottom of the image, below the bear's paws.
下側右詰め	 The polar bear is shown swimming, with the color calibration bar positioned at the bottom right corner of the frame.

下側左詰め



5 - 1 - 8 枠色・ブリンク

枠色をRGB値の各色0, 85, 170, 255の4段階により設定できます。
 枠の太さを4ドット単位で16段階(0~60ドット)設定できます。
 ブリンク設定により設定した枠色で点滅できます。

- 各枠モードでの枠表示イメージ (枠色RGB値[255,0,0]設定)

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

- 枠太さ設定イメージ
(子画面サイズ：480×270、シンプルモード、枠色RGB値[255,0,0]設定)

枠モード	表示
4ドット	チャンネル名称 
12ドット	チャンネル名称 
20ドット	チャンネル名称 

5 - 1 - 9 BASE 色・ブリンク

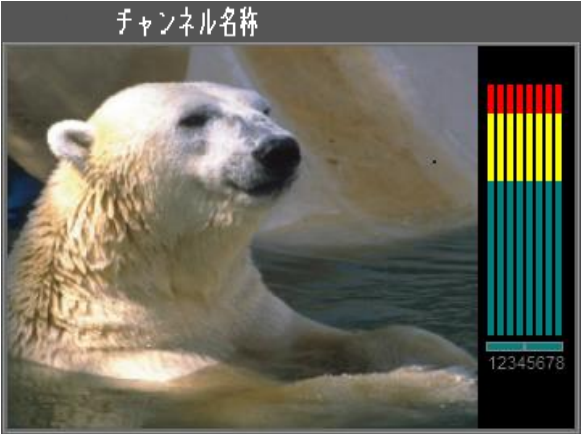
BASE 色(音声バーの背景色)をRGB値の各色0, 85, 170, 255の4段階により設定できます。
ブリンク設定により設定したBASE 色で点滅できます。

- 各枠モードでのBASE 表示イメージ (BASE 色RGB値[0, 85, 255]設定)

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	—
ノーマル (Ch 名称 無し)	

5 - 1 - 1 0 アスペクト設定

出力映像のアスペクト比（16：9又は4：3）が設定できます。

設定	表示
16：9	
4：3	

5 - 1 - 1 1 サブアスペクト設定

「5-1-10 アスペクト設定」の設定と入力映像のアスペクト比が一致しない場合の映像の表示方法が設定できます。

- アスペクト設定＝16：9、入力映像＝4：3

設定	表示
スクイーズ	
サイドパネル	

- アスペクト設定＝4：3、入力映像＝16：9

設定	表示
レターボックス	チャンネル名称
サイドカット	チャンネル名称

5 - 2 チャンネル名称

各子画面にそれぞれチャンネル名称が設定できます。
設定されたチャンネル名称は子画面のチャンネル名称が表示設定時にタトルバーに表示されます。
チャンネル名称にはテキストが表示できます。

チャンネル名称・表示イメージ



5 - 3 トリミング設定

各子画面は水平トリミング、垂直トリミングを設定できます。

設定	表示
右	
左	

設定	表示
上	
下	

5 - 4 時計設定

5 - 4 - 1 アナログ時計

レイアウト毎に1つのアナログ時計が表示できます。

アナログ時計イメージ



5-4-1-1 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5-4-1-2 表示選択

表示する時刻をLTC入力とMV内部で選択できます。

5-4-1-3 表示位置

表示位置（X，Y）を1ドット単位で設定できます。

5-4-1-4 サイズ

サイズを以下の5段階で設定できます。

216 × 216
270 × 270
360 × 360
432 × 432
540 × 540

5 - 4 - 2 デジタル時計

レイアウト毎に1つのデジタル時計が表示できます。

デジタル時計イメージ



5-4-2-1 表示 ON/OFF

表示／非表示が設定できます。

5-4-2-2 表示選択

表示する時刻をLTC入力とMV内部時計で選択できます。

5-4-2-3 表示位置

表示位置 (X,Y) を1ドット単位で設定できます。

5-4-2-4 サイズ

サイズを以下の5段階で設定できます。

216 × 108
270 × 135
360 × 180
432 × 216
540 × 270

5-4-2-5 文字色・背景色

文字色及び背景色をRGB値の各色1～255により設定できます。

5-5 コメントウィンドウ設定

- 出力コメントウィンドウと入力コメントウィンドウ機能を持ちます。
- 出力コメントウィンドウはレイアウト毎（レイアウト1～8）に160個のコメントウィンドウが表示できます。
- 入力コメントウィンドウは子画面毎に最大10個のコメントウィンドウが表示できます。

各部名称

以下にコメントウィンドウの各部名称を記載します。



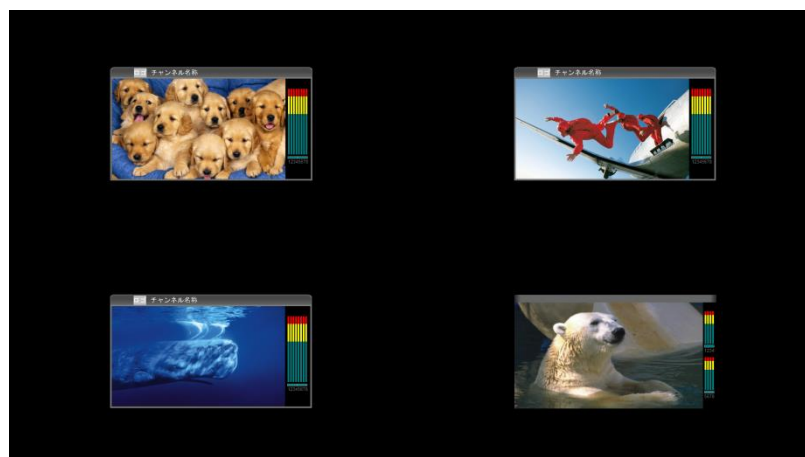
- ① 文字
- ② マット
- ③ 枠

使用例

コメントウィンドウの使用例を記載します。

下図にコメントウィンドウを使用した場合のイメージを記載します。

下図では4つのコメントウィンドウを表示しており、最大160個まで表示出来ます。



コメントウィンドウ無しのレイアウトイメージ

コメントウィンドウ追加



コメントウィンドウ設定時のレイアウトイメージ

① 通常使用例



コメントウィンドウは任意の文字を画面上自由に任意の大きさに配置出来ます。

② タリーの様に表示出来ます。



コメントウィンドウは背景色が設定でき、文字を空白のみにすることでタリーの様に表示できます。

③ 枠の様に表示出来ます。



コメントウィンドウは透過率が設定でき、枠サイズも設定できるため、枠の様に表示出来ます。

設定：マット色：不問、マット透過：100%、枠色：赤、枠透過：0%

- ④ チャンネル名称の様に表示出来ます。



コメントウィンドウを子画面の上部等に配置し、チャンネル名称の様に表示出来ます。テキストは最大1000個のパターンを登録でき、コメントウィンドウ毎にパターンを選択できます。

コメントウィンドウの文字は選択しているパターンを変更するだけで変更出来ます。



パターン変更

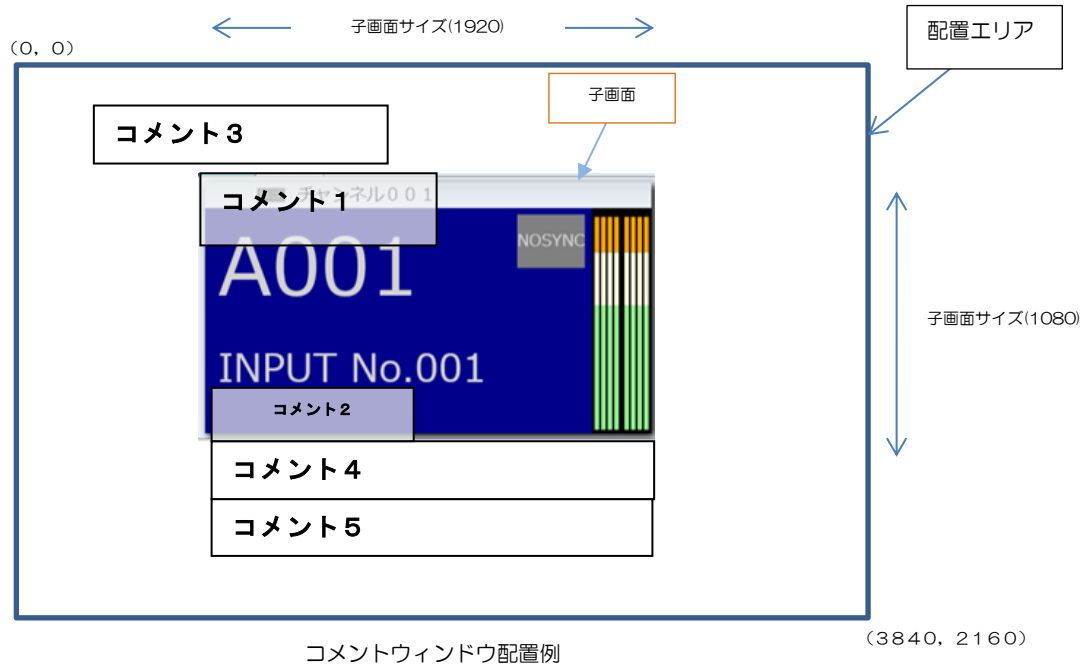


入力コメントウィンドウは、下図の様に、子画面に関連して配置し表示します。

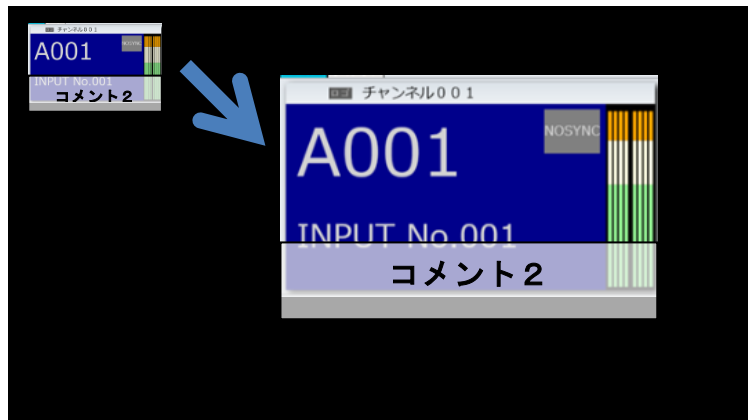
子画面のサイズを1920×1080として、入力コメントウィンドウを配置します。

配置エリアは、H：0000 ～ 3840 / V：0000 ～ 2160

例)「コメント1」の位置=H：960, V:540 サイズ=H：50%(960), V:25%(270)



入力コメントウィンドウは子画面のサイズに合わせて、自動でリサイズします。
子画面のサイズが小さくなるにつれ表示できなくなる場合があります。



5 - 5 - 1 設定項目

コメントウィンドウデータ、コメントパターンの設定項目の概要を以下に記載します。
設定詳細は外部制御仕様を参照下さい。

コメントウィンドウデータ設定項目

No	項目名	項目内容
1	表示/非表示	表示/非表示設定です。
2	マット X ポジション マット Y ポジション	表示位置です。
3	マット幅 マット高さ	表示サイズです。
4	マット色	
5	マット透過率	背景色の透過率です。
6	枠サイズ	枠の太さです。
7	枠色	
8	枠透過率	枠の透過率です。
9	コメントパターン ID	紐づくコメントパターン ID です。
10	文字サイズ	文字サイズです。
11	配置上下、配置左右	文字の配置位置です。
12	マット Blink	マットの点滅です。
13	枠 Blink	枠の点滅です。
14	文字自動サイズ調整	マットに合わせた文字サイズの調整です。

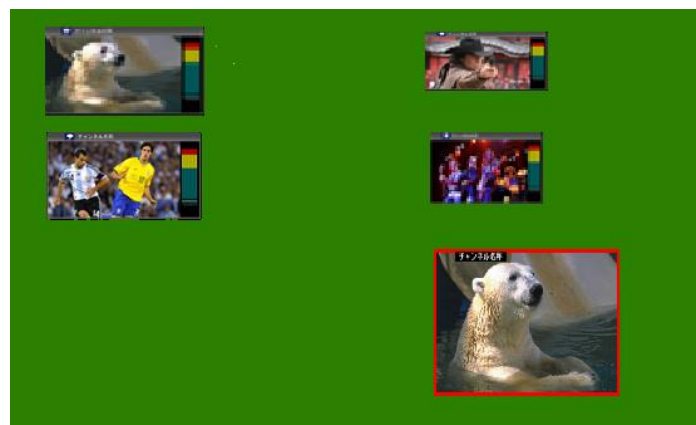
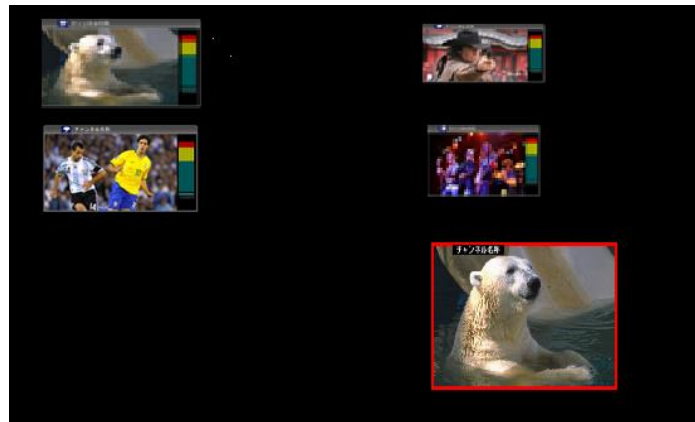
コメントパターン設定項目

No	項目名	項目内容
1	コメントパターン ID	コメントパターンのキーとなる ID です。 本項目は変更出来ません
2	文字色	文字色です。
3	文字エッジ幅	文字のエッジ幅です。
4	文字エッジ色	文字のエッジ色です。
5	フォント	文字のフォントです。
6	文字	文字の内容です。

5 - 6 背景設定

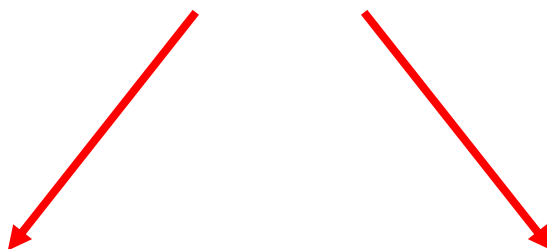
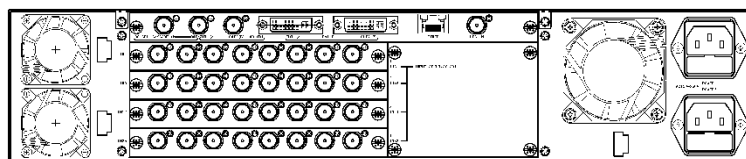
レイアウト毎に背景色を設定できます。

背景色表示イメージ



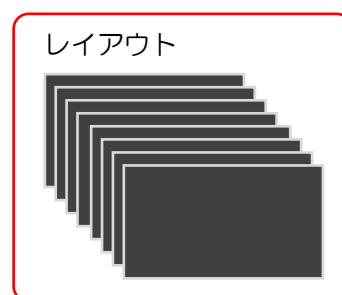
5 - 7 レイアウト設定

出力毎に 8 個のレイアウトが設定出来ます。



画面 A

...



画面 B

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担 当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038